



就職活動サポートガイド



桃山学院大学
St. Andrew's University

桃山学院大学 キャリアセンター

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1番1号
TEL 0725-54-3131 (代表) URL <http://www.andrew.ac.jp/>

学外オフィス 梅田サテライト

〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング(8F)
TEL.06-6131-8981 FAX.06-6131-8982
利用時間/月～金曜日 10:00～18:00 ※土・日 祝 休館 (土、日が開室の場合有り)
〈大阪メトロ御堂筋線「梅田」駅・大阪メトロ四つ橋線「西梅田」駅・JR各線「大阪」駅地下直結〉

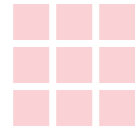


桃山学院大学
St. Andrew's University



就職活動の「今」を知り、 保護者の皆さまができるサポートを。

保護者の皆さまも近年の就職活動について、
テレビや雑誌などから様々な情報を得ているかと思います。
経済状況やインターネットの更なる拡大、就職活動の時期など、
変化し続ける現状を認識し、お子さまの就職活動環境を深く理解してあげてください。
皆さまができるサポートを実践していただき、
我々キャリアセンター職員とともに、お子さまのより良い将来を実現させましょう。



お子さまが向かう就職活動、その状況や 進化など 具体的に理解し、より良いサポートを行っていきましょう。

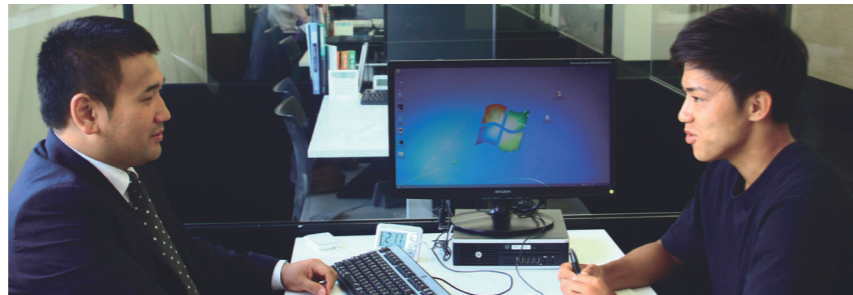
近年の就職活動

近年、希望する業種や職種、職場の雰囲気などを確認するために、企業が実施する「インターンシップ」に参加する学生が増えています。

大学3年生の4月頃に必要書類を提出し、選考に合格すれば、夏に実施されるインターンシップに参加することができます。インターンシップという**実社会での経験**は、将来の進路をより具体的に考えるきっかけとなります。

企業の採用広報活動は、大学4年生になる直前、3月1日頃から始まります。就職情報サイトに掲載されている企業の採用情報を基に、学生がインターネットで「**プレエントリー**」を行います。その後、企業から通達のあった説明会などに参加し、業界や企業への理解を深め、他社との比較検討を行います。

働きたい企業が絞られたら、「志望動機」「自己PR」「学生時代に打ち込んだこと」などを記入した「**ES (エントリーシート)**」を企業に提出します。企業によってフォーマットや質問項目が異なり、書類選考でも重用視されるため、ESの作成には**相当の労力と時間が必要**です。その後、適性検査やグループディスカッションなどが始まり、早い学生では年内から年明け早々には内々定が出始めます。



AIによる採用適性診断も登場

採用に「AI(人工知能)」を活用する企業が増えつつあります。企業側の「期待に満たなかった人材」、採用された側の「想定外の業務内容」など、企業と学生の「ミスマッチ」を解消するのが、AIを導入する一番のメリットだと言われているからです。

企業側はエントリーシートの読込業務など採用担当者の負担を軽減する目的や、勤や経験など個人的な判断や、学歴に依存した採用などから脱却をはかり、より自社に適した有能な人材を採用しようとAIを使用します。エントリーシートやSPI(適性検査)を個々の企業のAIが保持する「採用基準の優先度」「人物像」「内定辞退の可能性」などと照らし合わせて分析し、採用判断の参考にしています。

現在、AIに人事採用の全てを委ねている企業は見当たりません。AIは採用業務のサポートをしているだけで、採用判断は変わらず人事担当者が行っています。

今後、AIはさらに進歩し、高度な面接や質疑を判断材料とすることがあるかもしれません。ですが、それにより現在の学生が行っている対策が、大きく変わることはありません。これまでと同様に、目的意識を持って学生生活を充実させることが、就職活動には一番大切なことなのです。

就職活動中のお子さまに より良い対応を

就職活動において、保護者の協力は欠かせないものです。お子さまの目線に立って、より良いサポートをお願いいたします。

 <p>GOOD</p>	 <p>GOOD</p>	 <p>GOOD</p>
<p>お子さまの意思を尊重する</p> <p>お子さまを信じて、お子さまの「やりたい」という気持ち大切にしてください。さりげない励ましがお子さまを支えます。</p>	<p>経済的なサポート</p> <p>就職活動は、交通費やスーツ代など費用がかかります。経済的負担を軽くすることで、お子さまが就職活動に専念できます。</p>	<p>リラックスできる環境づくり(食事面、生活面)</p> <p>慣れない就職活動では、保護者の皆さまによる毎日の食事や掃除など、細やかなサポートがお子さまの緊張や疲れを癒します。</p>
 <p>NG</p>	 <p>NG</p>	 <p>NG</p>
<p>企業選びや就職活動のやり方を「否定」</p> <p>現在の就職活動は、採用方法や価値観などが保護者世代と大きく変わっています。経験則を押しつせず、お子さまの意思を肯定するアドバイスをしましょう。</p>	<p>兄弟や他の人、保護者世代との「比較」</p> <p>世代や価値観が違う保護者や兄弟、他人との比較は、努力しているお子さまにとってプレッシャーになります。</p>	<p>何のアドバイス、サポートもしない</p> <p>将来はお子さま自身が決めるものですが、一切関わらないでいると、お子さまは心細さを感じます。いつでも頼っていいという姿勢を示してください。</p>

知っておきたい 就職活動用語

自己分析

自分の強みや価値観などについて掘り下げ、「どういった仕事がしたいのか」を把握し、業界研究やESの作成に役立ちます。自己分析は客観的な視点が大切で、保護者の皆さまの意見から新たな自分の一面を見出すこともあります。

プレエントリー

企業に対して「興味がある」と示すことを言います。プレエントリーすると、企業から説明会などの情報が届き、その情報がESを提出する判断材料の一つとなります。

業界研究/企業研究

視野を広げるため、まずは業界研究で様々な業界について調べることが必要です。業界を理解し自分の適性を考え、企業研究へと進みます。企業研究では、企業説明会に参加する以外に、インターネットやニュースなど多面的に情報を集めるのが理想的です。

エントリー

企業の採用選考に「参加したい」と意思表示することを言います。ESの提出や適性検査の受験などが必要な場合もあるため、選考スケジュールを確認し、余裕を持ってESを完成させ、試験の準備を進めることが大切になります。

ES (エントリーシート)

「志望動機」「自己PR」「学生時代に打ち込んだこと」「取得資格」などを記入した応募書類を、ES(エントリーシート)と言います。ESは企業ごとに異なることが多く、一次選考として応募者の絞り込みなどに使用されています。

筆記試験/適性検査

就職活動における筆記試験・適性検査は、能力検査と性格検査の2つのテストで構成されています。多くの企業では(株)リクルートの「SPI3」を使用しており、能力検査は基本的な教養を問う学力テスト、性格検査はどのような仕事に適性があるのかを測定するテストです。

テストセンター

筆記試験の際、企業から「テストセンター」という受験方法を指示されることがあります。これはSPIの受験方法の一つで、テストセンターと言われる会場のパソコンで受験する方法です。会場は47都道府県に設置されており、受験する企業が指定した期間内に自身で会場を予約し受験します。

インターンシップ

夏や冬に企業が実施する、実際の仕事や職場環境を体験できる制度です。インターンシップに積極的に参加することで、自分の興味のある業界や働き方について確認することができ、就職活動のモチベーションへとつながります。

グループディスカッション

学生数人をグループに分け、正解のないテーマを元に議論を行い、制限時間内に結論を出していく面接方式です。グループ内での役割分担や協調性、考え方を判断される、チームワークが重要なポイントとなる選考の一つです。

内定/内々定

企業が学生に対して「採用したい」という意思を伝えることを言います。経団連の規定により、一般に10月1日が内定解禁日とされています。それ以前に内定の約束を交わすことを内々定と言い、内定と区別され、使用されています。

企業・公務員などの採用スケジュール(2020年3月卒対象)

	3年											4年					
	2018年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月~3月
民間企業 (予定)			● 6/1 就職情報サイトプレオープン										3/1~ 就職情報サイト 求人情報公開、エントリー開始				
													合同企業説明会、セミナー、自社説明会				
													エントリーシート提出				
															書類選考、筆記試験		
															グループディスカッション、集団面接、個人面接		
															内々定	内定(10/1)	
公務員 (予定)												警察官 採用試験申込受付		一次試験	二次試験		
													消防官 採用試験申込受付	一次試験	二次試験		
														地方公務員 一次試験	二次試験		
																	※出願期間や試験日程は各自自治体によって異なります。
桃山学院大学の 支援 プログラム		● 第1回就職ガイダンス		● 第2回就職ガイダンス ● インターンシップ準備講座			● 第3回就職ガイダンス		SPI対策講座		● 第4回就職ガイダンス						● 未内定者ガイダンス(7月)
									履歴書添削面談 業界・企業研究								● 未内定者ガイダンス(10月)
																	学内合同企業説明会(4月~翌2月)

福祉系採用スケジュール

●福祉企業は民間企業スケジュールに、公務員福祉職は公務員スケジュールに準じます。 ●欠員募集の多い福祉職は募集時期が遅く、事業所によって採用スケジュールが異なります。
●福祉系就職も対策方法は同様です。支援プログラムを受講するようにしてください。

就活担任制

キャリアセンタースタッフが学生一人ひとりを担当し、1対1できめ細かくサポートします。学生の希望や適性を把握し、的確にアドバイスすることができます。事務的な支援だけでなく、対話重視のサポートでメンタル面もフォローしています。



メリットは？

一人ひとりに合ったサポート

就職活動は、マニュアルに従って活動するだけでは不十分。より個人的な視点と価値観で考えることが大切だと捉えています。本学は「就活担任制」により、各自が進路を意識し始める3年次から卒業後の生き方まで、専任の担当者がその学生に合ったサポートを行います。

他大学との違いは？

本音で意見をぶつけ合う関係に

桃大の就活担任制では同じスタッフが学生との個別面談を繰り返し、いろいろな条件を把握して、一人ひとりに適切なアドバイスや情報を提供します。ときには再考を促し、意見をぶつけ合うことも。密なやりとりの中で、本音で語り合える関係が構築されます。

どんな支援をしてくれる？

一人ひとりに応じたアドバイス

書類添削や自己PR・志望動機の作成支援、希望する業界の企業情報の提供など、本人の性格や考え方、活動時期などを見ながら、最適なアドバイスを行います。

- 活動方針のたて方
- 業界研究
- エントリーシート作成
- 状況確認

支援プログラム

一人ひとりのキャリア実現をしっかりと支えるために、本学は目的に応じた多数のサポートプログラムを用意しています。自分の将来を計画するサポートから、具体的な就職活動の支援、企業との出会いをつくる支援まで幅広く展開します。



就職ガイダンス

3年次から年に4~5回開催。就職活動のスケジュール、その時々準備しなければならないことを伝えたり、業界・企業研究の方法や企業の見極め方や自己分析の方法など順を追ってガイダンスしていきます。



インターンシップ準備講座

インターンシップへ自信を持って挑めるように、応募書類の書き方や、ビジネスマナーなどについて対策を行います。



面接対策講座

面接の「評価される」ポイントや、面接時の一連の動作などについて解説します。



SPI対策講座

筆記試験の対策として、多くの学生が苦手とする非言語分野で出題傾向の高い問題を中心に解説します。



企業研究フォーラム

企業の方から、業界や企業について具体的な情報を聞くことができます。



履歴書添削面談

一人ひとりに合わせて、自信を持てる履歴書が書けるようサポートします。



学内合同企業説明会

桃大生を積極的に採用している企業を大学に招き開催します。例年、学内の説明会からは多くの内定者が出ています。



業界・企業研究

業界や企業に対する理解を深め、さらに自分が興味を持てる会社を見つけるために、業界や企業の調べ方について解説します。



未内定者ガイダンス

就職活動が上手くいかない学生の原因を探し、解決できるサポートをします。

就職実績



就職決定率

98.8%

2018年3月卒業生 ※4年で卒業した者の実績
就職希望者に対する割合
また、2018年3月卒業生全体(進学除く)に
対する就職率は88.2%です。



公務員合格実績

153名

※2015年度～2017年度の卒業生
警察官をはじめとした
高い合格実績



進路把握率

99.2%

一人ひとりの学生との
つながりの深さ



就職支援プログラム年間実施日

200日以上

就活の進め方などの基礎指導はもちろん、
実践スキルを磨く各種講座や各業界向けの
きめ細かなフォローも実施しています。

内定者からのメッセージ

留学で悪戦苦闘した日々が、
困難を乗り越える力に。

大学生になったら、今までにない挑戦がしたい。そう決心し、3年次から1年間休学してカナダのバンクーバーにある語学学校に留学しました。ところが入学早々、言葉の壁に阻まれ重度のホームシックに。それでも、「この日は日本人以外の留学生と話す」とルールを決めて積極的に英語で会話する機会をつくるなど、必死で周囲の人とコミュニケーションを取り続けました。その結果、数ヶ月後には自分の考えを何とか英語で表現できるようになり、留学生の友人も増え、留学期間が終わる頃には「留学してよかった」と心から思えるまじになりました。帰国後は、授業にも意欲的に臨めるようになり、ポジティブな意識を継続できました。就職活動中には、採用が決まらず苦しい時もありましたが、前を向いて挑戦し続けることができたのも、留学で心が鍛えられたからだと思います。早く留学に送り出してくれ、社会人の先輩として相談にのり、サポートしてくれた両親には、感謝の気持ちでいっぱいです。



↑インタビュー
動画公開中



村田 実理さん
株式会社学情 内定
経営学部経営学科 4年次
【大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校出身】

大学時代の目標を最後まで貫き、
志望の業界・企業へ。

大学入学後、1ヶ月に15冊の本を読破するという目標を実行したり、大学祭の実行委員としても活動、中学で始めたバスケットボールを続け体育会で汗を流す、そんな日々を送りました。バスケットボールでは、3年次にキャプテンを任せられるまでになり、怪我で1ヶ月離脱しながらもリーグ戦を戦い抜き、強いメンタルを身につけることができました。2年次には、「インド異文化&ボランティア体験セミナー」に参加。そこで、劣悪な環境の中で生活を送る現地の人々の姿に衝撃を受け、飢餓など世界が抱える問題を何とか解決したいと考えようになりました。あらゆる国や人々、物事をつなぐITなら世界を変えることができるのではないかと。そう考え、就職活動でもIT業界一本に絞って活動を行った結果、意中の企業に内定をいただくことができました。大学4年間意識してきた、「人と出会う」「人と違う経験をする」「何事もやり抜く」この3つを最後まで貫いたことが、よい結果につながったのだと思います。



↑インタビュー
動画公開中



廣田 慎悟さん
日本電気株式会社(NEC) 内定
社会学部社会学科 4年次
【私立阪南大学高等学校出身】

人見知りから人好きへ。
将来につながった貴重な経験。

もともと、人見知りの性格で人と話すことが苦手ででした。1年次から100円均一ショップでアルバイトとして働き始めたのですが、職場で働くさまざまな年代のスタッフやお客様と接するうちに「人と話すのは楽しい」と感じるようになっていきました。接客が楽しくなることで、自ら調べて自社・他社問わず商品知識を増やす努力をしたり、お客様との会話や態度にも一層気を配れるようになるなど、積極的に業務に取り組めるようになります。就職活動も、「接客」をキーワードに企業を探し、美容部員など店頭での販売員の募集を中心に採用試験を受け、その過程で、地元に貢献したい、お客様の人生に深く関わる仕事をしたいとの思いが強まり、地方銀行など金融業に絞って、活動を進めていきました。第一志望の銀行に入ることができたのは、事前に就職活動に必要な知識を学ぶことができた「就活塾」や、精神的に落ち込んだときに支えてもらった仲間、父や母のおかげだったと実感しています。



↑インタビュー
動画公開中



中西 真優さん
株式会社紀陽銀行 内定
経済学部経済学科 4年次
【和歌山県立桐蔭高等学校出身】

サッカー部で培った強靱なメンタルで、
就職活動をクリア。

子どもの頃から、夢になってサッカーボールを追いかけました。大学入学後も続けたいと考え、体育会のサッカー部に入学しました。ですが、150名ほどの部員の中でトップの11人に入るの簡単なことではありません。そこで、まずは基礎体力に重点をおき、次の段階では技術を磨くなど、段階的にトレーニングすることにしました。その間は食事にも気をつかい、授業以外の時間はほとんどトレーニングに費やし、着実にスキルアップしていきました。そしてついに計画通り、3年次秋のリーグ戦にはトップチームのレギュラーをつかみ取ることができました。内定先は、社会インフラを特殊技術で支える企業です。「最後まで諦めない」精神力を評価され、採用を勝ち取ることができました。業種や企業のアドバイスをしていただいたキャリアセンターの方や、情報交換をして支え合ったサッカー部の仲間、程よい距離感で接してくれた両親、全ての人のサポートが就職活動を乗り切れる力になったと思います。



↑インタビュー
動画公開中



釘貫 真弘さん
極東開発工業株式会社 内定
経営学部経営学科 4年次
【兵庫県立西宮高等学校出身】

自国のよさを再確認し、
「ものづくり」を支える企業を志望。

国際教養学部に入学後、学部独自の英語特待生留学で1年次の秋学期から半年間カナダへ。最初は聞き取りも十分にできませんでしたが、帰国する頃には自分の考えをある程度話せるまでに上達。また、留学を経験したことで日本の素晴らしさを再確認するとともに、想像以上に「Made in Japan」製品の評価が高いことを実感できました。そのため、就職活動の際も幅広く業界・企業のインターンシップなどを体験しながら、日系メーカーを中心に志望を固めていきました。参加した「就活塾」では、履歴書などの志望動機の書き方や、社会人としての基本的なコミュニケーション方法を学修。企業の説明会や面接の際には、率先して質問するなど積極的に行動し就職活動を進めていきました。その中で出会ったのが、半導体の基板材料を製造する内定先企業です。就活塾の仲間たちと密に情報交換を行って励まし合い、父にも相談に乗ってもらいながら、第一志望の採用を勝ち取ることができました。



↑インタビュー
動画公開中



平田 愛海さん
株式会社SUMCO 内定
国際教養学部英語・国際文化学科 4年次
【大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校出身】

主な就職先(2018年3月卒)

建設業

住友林業(株)
大和ハウス工業(株)
積水ハウス(株)
ダイダム(株)
(株)鴻池組
(株)熊谷組
明星工業(株)
日本電通(株)
日成ビルド工業(株)
(株)きんぱい
新菱冷熱工業(株)

製造業

日本電気(株)(NEC)
THK(株)
スズキ(株)
(株)キーエンス
科研製薬(株)
ダイベア(株)

オーデリック(株)
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
(株)村田製作所
(株)ニチレイフーズ
能美防災(株)
トソー(株)
ロックペイント(株)
マツモト機械(株)
極東開発工業(株)
(株)エアアンドエーマテリアル
アイホン(株)
フルタ製菓(株)
文化シャッター(株)
立川ブラインド工業(株)
(株)パトライト
アース製菓(株)

卸売業

(株)あらた
都築電気(株)

ダイワボウ情報システム(株)
(株)立花エレック
(株)日伝
(株)スズケン
(株)テクノアソシエ
日本酒類販売(株)
日通商事(株)
国際紙パルプ商事(株)
(株)ジーシー
高圧ガス工業(株)
(株)電管社
(株)Naito
浅香工業(株)
マツモト産業(株)
(株)モリタ
双日建材(株)
JFE商事薄板建材(株)
淀鋼商事(株)
(株)スリーボンド
(株)日本アクセス

小売業

イオンリテール(株)
上新電機(株)
青山商事(株)
(株)ロック・フィールド
(株)オークワ
(株)セブン-イレブン・ジャパン
(株)ファミリーマート
ウエルシア薬局(株)
(株)万代
イズミヤ(株)
(株)ナフコ
(株)ヨドバシカメラ
(株)ユナイテッドアローズ
コーナン商事(株)

金融・保険業

損害保険ジャパン日本興亜(株)
(株)池田泉州銀行

(株)紀陽銀行
(株)南都銀行
(株)大正銀行
(株)ゆうちょ銀行
岩井コスモ証券(株)
岡三証券(株)
高木証券(株)
尼崎信用金庫
大阪シティ信用金庫
大阪信用金庫
大分信用金庫
徳島信用金庫
きのくに信用金庫
(株)阿波銀行
(株)高知銀行
(株)中国銀行
(株)香川銀行
(株)鳥取銀行
(株)伊予銀行
(株)百十四銀行
(株)トマト銀行

不動産業

住友不動産販売(株)
みずほ不動産販売(株)
サンヨーホームズ(株)
大和リビング(株)

運輸・通信業

西日本電信電話(株)
(株)NTTドコモ
日本航空(株)
センコー(株)
四国旅客鉄道(株)
ANA関西空港(株)
ANA大阪空港(株)
日通NECロジスティクス(株)
(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西
山九(株)
(株)ケイ・オブティコム

教育・マスコミ・公益・その他サービス業

吉本興業(株)
(株)日刊工業新聞社
(株)ゼンリン
ホテルモントレ(株)
大阪ビルトン(株)
キョーラクスシステムクリエイト(株)
(株)パソナ
(株)マイナビ

福祉関係

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会
社会福祉法人河内長野市社会福祉協議会
社会福祉法人四條畷福祉会
社会福祉法人大阪児童福祉事業協会清心寮
社会福祉法人美原の郷福祉会
社会福祉法人八尾隣保館
社会福祉法人同和園
社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団
パナソニック エイジフリー(株)

(株)スーパー・コート
社会福祉法人大阪府社会福祉事業団

公務

国税専門官
神戸市役所
堺市役所
和泉市役所
奈良市役所
大府警察本部
兵庫県警察本部
奈良県警察本部
西宮市消防局
伊丹市消防局
自衛隊
警視庁

地元企業に絞った活動を徹底して行い、第一志望の金融機関へ。

就職活動を始める前の状況をお聞かせください。

有紗さん：都会に憧れて、鳥取県米子から桃山学院大学法学部に入学したものの、帰省する度に地元のよさを実感するようになりました。ですので、早い段階から将来は鳥取県内で就職しようと決めていましたが、地元の本拠をおく企業は少なく、本当に内定をいただけるのか不安でした。

未純さん：大学時代、娘は頻繁に実家に帰って来ていました。その際、「地元の企業に就職したい」という話は聞いていましたが、周りの人たちからは、地元は新卒者の採用自体が少ないといった話しか伝わってきません。そのため、就職先が見つかるのかがどうかが一番心配でした。兄の時代が就職難の頃だったため、「内定をもらう」ためだけの就職活動になるのではという危惧もありました。

有紗さん：卒業後は地元に戻りたいとは考えていたものの、就職活動を始める前まで、あまり将来に対する具体的なイメージは湧きませんでした。ただ、安定して働き続けたいという想いがあったため、金融業界を中心に就職活動をしようとするようになりました。

どのような就職活動を行いましたか？



有紗さん：採用に関する情報は主に、大手をはじめ鳥取県の求人に特化した就職ポータルサイトから収集しました。大阪では、説明会など地方企業の就活イベントが開催されることが少なかったため、面接など実際の活動は、ほとんど鳥取県内で行うことになりました。まずは、3年次の夏休みから地元に戻り、インターンシップに参加することから就職活動を始めました。

未純さん：インターンシップに参加していた時期、娘はリクルートスーツを着てどこかに出かけるのですが、何も言いませんでした。帰宅してから、初

めて参加先の企業について話をするといった感じでした。ただ私は、あれこれ詮索しなくても、娘なら大丈夫だろうと思っていました。

有紗さん：就職活動中には、鳥取県や周辺地域に本拠をおく銀行や信用金庫などを中心に採用試験を受けました。志望する業界で新卒採用を募集している企業は限られていたため、意中の企業の情報はホームページで詳細に調べ、説明会には何度も足を運び、顔を覚えてもらうようにしました。面接でも、「地元愛」を前面に押し出し、「地域に貢献したい」という熱意を強くアピールしました。その結果、第一志望であった、鳥取県に唯一、本店をおく銀行から内定をいただくことができました。

未純さん：娘から内定書の画像を携帯電話で受け取ったときは、私も自分のことのように喜びました。娘の内定先の銀行は意欲的な経営をされており、少数精鋭で採用者を絞って募集していた企業だけに、本当に頑張ったなと思います。娘は、子どもの頃から武道を続けるなど、継続して物事をやり遂げられる精神力を持っています。そうした心の強さが評価されたのではないのでしょうか。



ご家族のサポートについてどう感じましたか？

有紗さん：普段は大阪で一人暮らしをしていることもあり、就職活動で実家に戻ると、食事が当たり前のように出てくることだけで、胸がいっぱいになりました。就職活動を含めて、いろいろ話を聞いてくれる人が身近にいる、それだけで精神的に救われました。

未純さん：就職活動中、面接の前には身だしなみをチェックしたり、話し方や態度に気を付けるようになど、社会人として最低限のマナーについてはアドバイスしていました。ただ、私たち親にできることは、普段通りに接することだけだと考えていたため、それ以上深く干渉することはありませんでした。

有紗さん：両親は普段通り接してくれ、そのさりげない態度にほっとしていました。

読者にメッセージをお願いします。

有紗さん：就職活動をスタートさせる前に自己分析をし、どんな仕事がしたいのか、自分の強みは何か、しっかりと把握しておくことが大切です。また、就職後のことを考え、よくも悪くも「ありのまま」の自分を見せるようにした方がよいのではないのでしょうか。就職活動中の学生は、社会人になる手前の年齢です。頑張っている本人たちを信じてあげて欲しいと思います。

未純さん：過干渉せず一緒に考える、子どもを信頼して全員で応援する。そんな態度が、家族には求められるのではないのでしょうか。

奥山 有紗さん
株式会社鳥取銀行 内定
法学部法律学科 4年次
【鳥取県立米子高等学校出身】

保護者様
奥山 未純さん

キャリアセンターを最大限活用して、納得のいく就職活動を展開。

就職活動を始める前の状況をお聞かせください。

和樹さん：就職率が高いこともあり桃山学院大学経営学部に入学したのですが、その時点では明確な将来像があったわけではありません。業界や企業など知識のないまま就職活動を始めることに不安を感じ、3年次になる前の3月に、1学年上の先輩に混じって合同説明会に参加しました。



光一さん：数年前までは、何十社も受けて一社内定がやっとという就職氷河期と言われていたため、就職活動には非常に厳しいというイメージがありました。最近は企業業績も好況になってきたとはいえ、不安しかなかったというのが正直な気持ちです。

和樹さん：実際に合同説明会に参加してみると、採用担当の方々とも気軽に話ができる、そんな雰囲気がありました。「この就職活動で自分の一生が決まる」、そんなプレッシャーの中で身構えていた気持ちが、この時にかなり楽になりました。

光一さん：息子から先輩と共に企業の説明会に参加すると聞いた時は、知識を蓄えるよいことだと思い、親としても心強く感じました。

どのような就職活動を行いましたか？

和樹さん：就職活動は、インターンシップに応募することから始めました。実際の業務を体験することで知見を広めようと、多様な業種の企業計10社ほど参加しました。その中で強く印象に残ったのが、ペアリング・メーカーなど日本のモノづくりを縁の下から支えている企業でした。それからは、一般的な知名度はなくても広いシェアを誇っているような企業を志望するようになりました。

光一さん：本人の希望に沿い、長く勤務できる企業であれば、特に企業の規模やネームバリューは気にしませんでした。息子には折りにふれ、そうした自分の気持ちを伝えていました。

和樹さん：父の言う通り、親子で考え方を共有しながら志望先を絞っていきました。キャリアセンターの方からのアドバイスも大変に参考になりました。紹介していただいた内定先の企業は、部材の表面加工の分野において国内トップシェア、そして離職率も低いなどイメージ通りでした。

光一さん：私自身、社会に出て30年近く働いているとはいえ、他業界や企業についてはほとんど知りません。その点、キャリアセンターの方々は多種多様な企業についての知識があり、就職活動のノウハウを知り尽くしたプロの方々です。息子の担当の方からのアドバイスは、本当にありがたいと思いました。

和樹さん：就職活動中は、キャリアセンターに100回くらい通ったかもしれません。エントリーシートのご自己PRなどの添削や面接対策を徹底して行っていたことも、就職活動を乗り越える大きな力になったと思います。担当の方には、感謝の言葉しかありません。

森田 和樹さん
日本パーカライズング株式会社 内定
経営学部経営学科 4年次
【大阪府立久米田高等学校出身】

保護者様
森田 光一さん

ご家族のサポートについてどう感じましたか？

和樹さん：一番嬉しかったのは、「大企業でなくても、行きたいと感じる会社なら、全力で応援する」と言ってくれたことです。その言葉で安心し、前向きに就職活動を行うことができました。さりげなく食事に連れ出してくれたり、息抜きができる機会を与えてくれたことも、ちょうどよい気分転換になりました。父とは、何度か誘われ、一緒に釣りに出かけたことが印象に残っています。

光一さん：妻と私が一番心を配ったのは、息子の体調管理でした。その他にも私からは、面接時間には絶対に遅れないこと、きちんとスケジュール管理をすることなど、社会人として当然の常識は伝えていました。それ以外のことは、基本的に本人に任せていました。

和樹さん：「信頼されている」と、実感していました。就職活動全体を振り返れば、それが大きな心の支えになっていたと思います。



読者にメッセージをお願いします。

和樹さん：就職活動は、今まで知らなかった業界や企業と出会うことができます。視野を広げる絶好の機会ではないでしょうか。後輩たちには、その出会いを楽しむくらいの気持ちで挑戦してほしいと思います。キャリアセンターを最大限活用することも、有利に活動を進められるのでお勧めします。

光一さん：就職活動が終わって実感するのは、普段から親子で意思疎通をはかり、就職に対する価値観を共有することが大事だったということです。その上で、身近で一番知識と経験のあるキャリアセンターの方に相談するのが、ベストではないでしょうか。

